

国労仙総支部2013年度旗開き開催



1月10日(木)利府コミュニティセンターにおいて、二〇一三年度国労仙総支部旗開きが開催されました。

この旗開きには各政党、労働団体、福祉団体をはじめ組合員が多数結集し、職場の労働条件改善等の諸問題に一致団結して取り組むことを意思統一し、各ご来賓等との意見交換、各分会代表年頭の決意表明等、盛大・盛況に取り行われました。

司会の高橋書記長は「昨年は4月に新人事賃金制度への制度改正、10月には『グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進』検修合理化が行われ、組合員二名を含めた七名が本人の同意を無視され出向に出された。この間の外注化問題では、技術継承がきちんとできるのか、車両の安全を保つことができるのか等を含め交渉を行ってきた。今後も安易な外注化は許さない立場で、現職出向先やエルダー組合員の出向先はじめとした関連会社の労働条件改善を求めて皆さんと共に闘っていききたい」と開会の挨拶を行いました。

庄司委員長挨拶

今年の課題が、引き続き私たちの今年の運動の課題になると認識している。皆さんと団結し取り組んでいきたい。

昨年末に行われた総選挙の結果は、大多数の議席を自民党が占めたが、今回の選挙は選挙制度の特徴がよく表れた。実際、50%もない得票率の中で、自民党は多くの議席を占めた。この選挙制度そのものが問われている。

しかしこの結果により、政権を追われた三年間の満を持して自民党本来の政策が次々と現れてくると思う。決して私たちの暮らしたに直結する内容だと思わないのが大半だと思う。

今後、大衆運動を基軸とした私たちが労働運動をどう作っていくかが課題になる。そのためにも、国鉄労働組合組織一丸とな



り、様々な行動を含めた大衆行動を取り組んでいくことを皆さんと共に確認しあいたい。

国労も大きな闘いの節目を迎え新たな局面に移っている。そこで必要なのは組織の団結。国労仙総支部は、組合員のみならずと共に関係の一人として精一杯奮闘する決意を申し上げ支部を代表しての挨拶とする。

各分会代表挨拶

車体分会 小松分会長

昨年、エリア主催のマラソン大会に仙台地本のチームとして車体分会が中心に選手をエントリーし競技に参加してきた。今年も参加していく。また、新人の歓迎会も取り組み、大変盛り上がった。今後も組織強化・拡大に向け取り組んでいく。

大に向け取り組んでいく。

台車分会 森本分会長

昨年は、分会として組織問題に取り組んできた。今年は一歩でも前に出られるようがんばっていく。

組立分会 桜井分会長

私たちの職場は、昨年「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」合理化で、人も機械もTKKに移管された。本人の意思を無視した出向も発令された。私たちの職場は、将来の展望や退職まで本当に働き続けられるのかと多くの組合員が悩みを持っている。私たちは退職するまで働き続けられる労働条件改善と国労の最大の課題である組織強化・拡大に向け、皆さんと共に闘う。

運転分会 大友書記長

国労の課題である組織強化拡大に向け取り組んでいく。

来賓

社会民主党
日本共産党
塩釜地区交連
塩釜平和労組
東北ろうきん新塩釜支店
全国交連共済生協

東海林塩釜支部長
土村利府町議
千葉議長
伊藤副議長
高橋次長
太田副本部長
伊賀仙台所長
大沼委員長

国労仙台地方本部